

同総会の定期総会が開催されました

学びやすい環境作り支援を

飯田OIDE長姫

同窓会定期総会

飯田OIDE長姫高校同窓会の「第12回定期総会」が1日、飯田市内であった。23年度事業報告、同収支決算、10周年記念事業報告、同決算報告、24年度事業計画案、同収支予算案の計6議案を原案通り承認した。総会後は同校の部活動の発表で会場が盛り上がった。

昨秋は旧飯田長姫と旧飯田工業の両校が統合し新校となっ
てから10年の節目を迎え、統合創立10周年記念式典をはじめとする記念事業開催のほか、ラグビー部の全国高校ラグビー大会出場などで盛り上がった一年だった。

須山同窓会長はあ
いさつこの冒頭で「会



飯田OIDE長姫高校同窓会の定期総会

「員の皆さんの協力の
下、これらを盛大に
行うことができた」
と感謝。本年度は通

常の会運営に戻るこ
とから「腰を据え、
地に足を付けた運営
を心がけていく中
で、新規事業として
会員相互の融和と親
睦を深めるゴルフコ
ンペのイベント化を
目指したい」と提案
した。学校に対して
は引き続き「生徒た
ちが学びやすい環境
を支援していきたく
い」とし、協力を求
めた。

昨年度は創立10周
年事業として、校歌
の吹奏楽演奏用の楽
譜贈呈、校歌碑建

立、10人乗りワゴン
車贈呈、記念式典開
催、ラグビー部の花
園出場に伴う寄付金
集めなどに取り組ん
だ。

本年度は春、秋ゴ
ルフコンペの位置づ
けの変更、国レベル
出場事案に対する激
励会などの学校支援
事業を新規事業とし
て24年度事業計画に
盛り込んだ。

総会後は同校原動
機部の鈴鹿11連勝の
記録やパソコン制御
部のテックレンジャ
ーショー、吹奏楽部
の校歌演奏の発表が
あった。

キャリア学習の日

3年生の就職希望者は地元企業の説明会に参加しました

高卒人材の採用意欲強く

高3生対象
企業説明会

上伊那の高校も初参加

飯田職業安定協会とハローワーク飯田は4日、高校3年生を対象にした企業説明会を飯田市座光寺のエス・バードで開いた。飯田下伊那地域のほか、上伊那の高校も初めて参加し、8校から約250人が参加。飯伊の80事業所から仕事内容や募集職種について説明を受けた。

就職を希望する高校生に地元企業を知ってもらおうと開き、今年で4年目。人出不足で若手人材確保への動きが強まる中、定員を会場制限ぎりぎりの80社に設定。ネットでの受付開始4時間で定員に達し、96社から応募があった。

今年初めて上伊那の駒ヶ根工業高校も参加した。参加生徒も昨年から20人増加した。生徒たちは事前に選んだ事業所のブースで20分間の説明を受けた。多くの事業所で話を聞けるようにとフリータイムも設け、1人最大5社のブースを巡った。事業所はモニターやパンフレットを用い、企業理念や業務内容を説明。休みなど福利厚生の実績をアピールする姿もあった。



エス・バードで開いた企業説明会

飯田OIDE長姫高校機械工学科の平澤孝輔さん(17)は「企業の知らなかったことが分かり、具体的なイメージを持てた。就職への選択肢が広がり、自分の得意なことを生かせる企業を見つけたら」と話した。同協会は「応募の多さから高卒人材の採用意欲の高さがうかがえる」とし「生徒数が減る中で、飯伊以外からも受け入れ、参加生徒を増やしていきたい」としている。

建築学科で

内装工事の体験学習を実施しました

2024年(令和6年) 6月5日 水曜日

南信州新聞

座学で学べない建設業の魅力 専門家の協力で内装工事体験

OIDE長姫高



飯田OIDE長姫高で開かれた内装業体験学習

寸法通りに鋼材を切断したり、天井をつる金具を取り付けたりと、指導に沿って丁寧な作業を進めた。

ボードの取り付けでは、現場で測った寸法通りにボードに線を引いて加工。鋼製下地にボードを取り付けると、背面の鋼材にきちんと食い込むようにインパクトドライバで固定してい

作業することで建築

業、内装工事を将来の選択肢に入れてもらうことを目的としている。作業で使った耐切削手袋や防じんマスクは協会が用意した。

この日は、協会に加盟する飯田市上郷別府の建築工事業コンテックナガイの従業員ら17人が来校。生徒たちは、作業に携わるプロの専門家を講師に、実際の工事に使用する材料を使用し、内装工事の体験した。

るグループでは、水平に引かれた線から垂直の寸法を取り、鋼材を切断して取り付ける作業を体験。生徒たちは、インパクトドライバで鋼材を固定したり、防護ゴーグルを着けて

様子を見守った同社の中山雄介社長は「内装業体験を通じて建設業に関心を持つてもらい、将来の選択肢の一つにしてくれたらうれしい」と語っていた。

飯田OIDE長姫高校建築学科3年の26人は5月31日、県建設室内工事業協会の協力で内装工事の体験学習を校内で実施した。壁や天井の下部になる鋼材や石こうボードの張り付けなどを通じ、座学では分からない建築の作業手順や魅力を生徒で体験した。

協会は昨年度から、高校生向けの体験会を実施している。人口減による建築に携わる人材の不足を踏まえ、実際に

鋼製下地を設置す

鋼製下地を設置す

建築学科3年生、プロの技を学ぶ！

ラグビー部 7人制で2年連続全国大会へ

プレーを楽しんできて

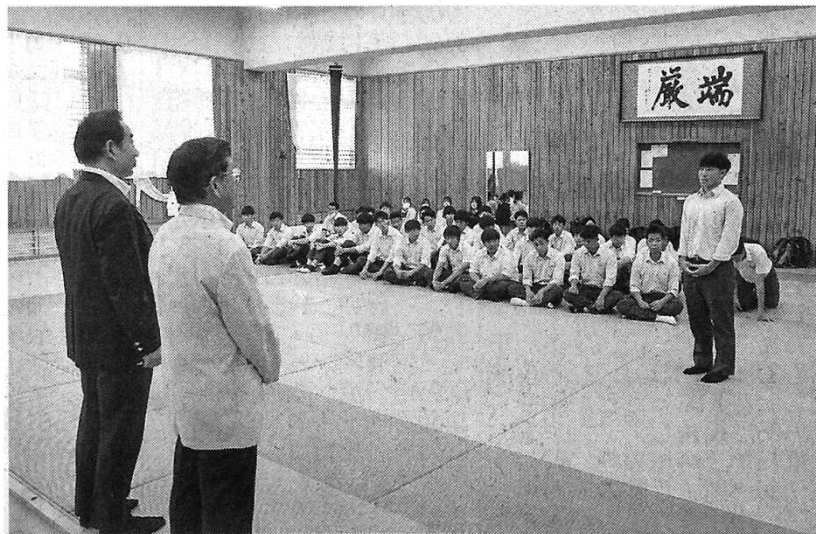
飯田OIDE長姫高同窓会

飯田OIDE長姫高校同窓会は13日、全国高校7人制ラグビー大会(7月21〜24日、菅平高原スポーツランドサニアパーク菅平)に出場する同校ラグビー部を訪ね、激励会を開いた。ラグビー部は4月20日の県予選決勝で飯田高校に勝ち、初出場だった昨年に続き、2年連続の出場を決めた。

部員たちに須山和彦同窓会長は「2回目というのは実力がある証。昨年は硬くなった面があったかもしれないが、楽しんでプレーし、笑顔で帰ってきてほしい」と言葉を贈った。宮澤直哉校長は「昨年末は花園にも出場し、今年も7人制の全国大会へ出場する。日々の研さんのたまものだ。地域の期待は大変大きい。活躍を」と願った。選手を代表して西

村成さん(17)は「昨年は悔しい思いをした。そこから1年間、フィジカルと技術面を磨いてきた。まずは1勝を目指して頑張る」と力強く語った。部員はマネジャーを含む44人。のうち8人が昨年の大会を経験している。7人制は15人制と同じコートで戦うため、一人一人のフィジカルと技術力が問われるという。昨年の経験を糧に

全国大会出場ラグビー部激励



同窓会が飯田OIDEラグビー部を激励

トレーニングと技術の練習を組み合わせ、個人でも体重を増やしてパワーアップを図った。7月21日に開会式、22〜24日に試合を行う。

令和5年度後期 技能検定(国家検定)

シーケンス制御2級・3級 13人合格

2024年(令和6年) 6月23日 日曜日

南信州新聞

OIDE長姫高

「上級資格にも挑戦したい」

シーケンス制御作業に13人合格

飯田OIDE長姫高校の電気電子工学科の13人が、国家検定「シーケンス制御作業」の2級・3級に合格し21日、宮澤直哉校長に報告した。

シーケンス制御は、あらかじめ定められた順序に従って各段階を逐次実行していく制御で、エレベーターや信号機、自動販売機など身の回りにある多くの機器の制御に使われている。

資格取得には、実技と筆記の両試験の合格が必要。実技は、指示された仕様に基ついて配線作業を行い、回路を完成させた後にプログラムを入力し、仕様通りに動作させる。生徒たちは放課後の補修や自習を重ねながら必要なスキルを身に付け、試験に備えた。

報告会で宮澤校長は「合格は皆さんの日頃の研さんのため。上の資格を目指しても良いし、視野を広げて他のことにチャレンジするも良い。合格で得た自信は今後の進路にも大いに役立つはず」とたたえた。

3年の香山侑哉さん(17)は「就職の際に大事な資格となる。現在は2級の取得を目指しているのですが、この調子で頑張りたい」と意気込んだ。技能検定と兼ねて実施された。

県技能競技大会で職業能力開発協会長賞(3位)を受賞した2年の澤柳楓さん(16)は「台否のことが考えていなかったため正直びっくりした。次の取得に向け励みになる」と笑顔で話していた。

祝

県技能競技大会 3位

2年 澤柳楓さん

資格取得には、実技と筆記の両試験の合格が必要。実技は、指示された仕様に基ついて配線作業を行い、回路を完成させた後にプログラムを入力し、仕様通りに動作させる。生徒たちは放課後の補修や自習を重ねながら必要なスキルを身に付け、試験に備えた。

報告会で宮澤校長は「合格は皆さんの日頃の研さんのため。上の資格を目指しても良いし、視野を広げて他のことにチャレンジするも良い。合格で得た自信は今後の進路にも大いに役立つはず」とたたえた。



シーケンス制御作業に合格した生徒たち

掲載記事提供: (株)南信州新聞社